令和７年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

佐世保市立宮小学校

所在地　佐世保市萩坂町１７１５番地
校　長　福本　良彦
児童数　１４９名
学級数　９学級

1　テーマ

豊かな学びとかかわりを通して、すべての子どもに、
未来社会を自分らしく幸せに生きる力を育む

2 目 的

（1） 児童の実態を分析し、課題を明確にした上で個に応じた指導の充実を図り、確かな学力の向上を目指す。

（2） 地域や関係機関との連携・交流や体験活動等を通して、多くの人とのかかわりの中で、宮小学校を誇りに思い、故郷を愛する児童を育成する。

（3） 「あいさつ運動」「読書活動」「体験学習」などを通して、児童の豊かな心を育てるとともに、「学校が楽しい」と喜んで登校するような明るい学校づくりを推進する。

（4） 基本的な生活習慣に関する指導を充実させることで、健康に対する関心を高めるとともに自らの生活習慣を見直し、自己管理のできる児童の育成を図る。

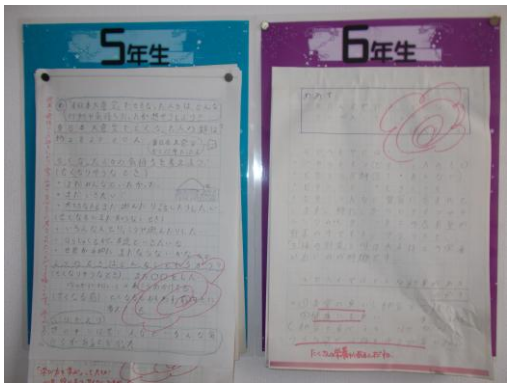
3 実践内容

（1） 基礎学力の向上と指導法の改善

① 学力検査の実施

（4月2~6年、12月1・5・6年）

本校児童の課題を明確にし、個に応じた指導を充実させるために、国語と算数の学力調査を4月と12月に実施した。本年度は、「自己の学びをコーディネートする児童」を目指し、朝のスキルタイムの時間に自主学習計画の時間を設け、自学（自分磨き学習）で主体的な学びが見られた。



自学ノートの掲示

② 一人一台端末を活用した授業づくり

一人一台端末を活用し、学びの個性化を推進した。端末を常時持ち帰ることで児童のスキルが上がり、活用の幅が大きく広がった。一人一人が課題意識をもって調べ、学んだことを、一人一台端末を用いてプレゼンテーションを作成した。「複線型授業」「自由進度学習」にチャレンジし、授業の形態や児童の選択度に幅をもたせるための手段として端末を効果的に活用した授業を行った。

③ 児童・保護者・家庭への啓発活動

「主体的な学びの確立」を目指し、「家庭学習がんばりカード」の見直しを行った。「（む）難しい問題(発展問題にチャレンジ)」「（て）：定着(もっと練習)」「（き）：基礎(苦手なことにもチャレンジ)」のレベルを設定し、子どもが自己のレベルに応じた家庭学習を選択できるようにした。

家庭学習がんばりカード（高学年）

名前（　　）

音読　◎上手　○まあまあ　△もうすこし

【自主学習】

（む）：難しい問題(発展問題にチャレンジ)　（て）：定着(もっと練習)　（き）：基礎(苦手なことにもチャレンジ)

する こと	音読	国語	算数	自主学習	時間 分	お家の人 のサイン	先生の イン
／ （月）	（　）			（　）	分		
／ （火）	（　）			（　）	分		

(2) ふるさとに根ざした活動の推進

① 地域を学ぶ

4年生は、地域主催「地域の宝シリーズ」の講座に参加し、酒蔵が関わった宮の歴史についての話を聞き、地域の歴史や文化についての理解を深めることができた。

地域の宝を学ぶ

② 福祉学習「アイマスク体験」「車いす体験」「バリアフリーに関する学習」

3年生は、社会福祉協議会と連携し、福祉学習に取り組んだ。校外で車いすに乗る活動を行い、目が不自由な人の思いや苦労を理解することができた。

社会福祉協議会と連携した授業

③「米作り体験」

5年生による「米作り体験」を地域の関係団体と連携して実施した。活動を通して、生産者の努力や苦労を知ることができた。

稲刈り体験

(3) 豊かな心を育む活動の推進

① 食育活動の推進

1・2年生は、大根、キュウリ、ニンジン、サツマイモの野菜づくりを行った。栽培活動を通して、収穫の喜びや栽培の苦労を体感することができた。

② 読書活動の推進

読書ビンゴカードの取組、図書ボランティアによる読み聞かせや音読劇、図書環境整備を通して読書活動の推進を図った。読書集会では、図書委員会主催で読書に関するクイズを行い、読書への意欲を高めることができた。

③ 国際交流活動の実施

6 年生が長崎日本語学院との交流活動を行った。校区にある日本語学院の生徒とのふれあうことで、国際理解や多様性への意識を高めることができた。マレーシアと日本の文化の違い知り、国際的な視野を広げるきっかけとなった。た。

④ 平和学習

4 年生が佐世保空襲資料館を訪ね、語り部の方に説明をしていただいた。学んだことを新聞にし、平和の大切さや命の尊さを理解し、他学年に伝えることができた。

⑤ 縦割り活動

6年生をリーダーとし、縦割り遊び、縦割り給食、縦割り掃除を行った。3 学期に行われた長縄集会では、児童の提案により、縦割り班で取り組んだ。6 年生にとって、下級生を世話し、まとめる経験を通して、責任感やリーダーシップ、そして誰かに頼られる喜びを学ぶ貴重な場となった。

⑥ 生活習慣に関する学習

学校保健委員会を講習会とし、「目標達成のための生活習慣」と題し、杉野伸治先生から話をいただいた。全学年、保護者、地域の方が参加し、科学的根拠に基づいた生活習慣やメディアに関する内容で、生活習慣を改善していく必要性を参加者全員が感じることができた。

(4)その他の体験学習やふれあい活動

宮村音頭の復活

無事帰るお助け隊との顔合わせ

カブトガニの授業

いのち輝く講演会

幼稚園・こども園との交流

カプラ体験